

令和8年4月27日

赤穂市教育委員会 様

公益財団法人赤穂市文化とみどり財団

理事長 藤 池 俊

令和7年度 赤穂市立歴史博物館の事業報告について

赤穂市立歴史博物館指定管理者管理運営基準に基づき、令和7年度管理委託に係る事業について別紙のとおり報告いたします。



歴史博物館(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

開館日数 305日

常			設			展			特			展			合		計
区	分		入館料(円)	入館人員(人)	入館料収入(円)	入館料(円)	入館人員(人)	入館料収入(円)	入館人員(人)	入館料収入(円)	入館人員(人)	入館料収入(円)	入館人員(人)	入館料収入(円)	入館人員(人)	入館料収入(円)	
個	人	大	人 200	10,748	2,149,600	大	人 300	738,900	2,463	738,900	13,211	2,888,500					
		小中学生 100	517	51,700	小中学生 150	84	12,600	601	64,300								
団	30人以上	大	人 160	3,298	527,680	大	人 240	185,040	771	185,040	4,069	712,720					
		小中学生 80	119	9,520	小中学生 120	26	3,120	145	12,640								
体	100人以上	大	人 120			大	人 180										
		小中学生 60			小中学生 90												
減	個人 50%	大	人 100	543	54,300	大	人 150	36,000	240	36,000	783	90,300					
		小中学生 50	16	800	小中学生 75	1	75	17	875								
免	団体 30人以上50%	大	人 80			大	人 120										
		小中学生 40			小中学生 60												
団	体 100人以上50%	大	人 60			大	人 90										
		小中学生 30			小中学生 45												
100%		大	人	1,924		大	人		256		2,180						
		小中学生	428		小中学生	80		508									
特別利用券利用者		大	人			大	人		105		105						
		小中学生			小中学生												
合	計	大	人	16,513	2,731,580	大	人	959,940	3,835	959,940	20,348	3,691,520					
		小中学生	1,080	62,020	小中学生	191	15,795	1,271	77,815								
		計	17,593	2,793,600	計	4,026	975,735	21,619	3,769,335								

特別展、企画展等の開催

歴史博物館

特別展

期 間	令和7年11月22日（土）～令和8年1月27日（火）
名 称	「赤穂を駆け抜けた乗り物たち～高瀬舟・塩廻船・赤穂鉄道～」
内 容	日本遺産に認定された赤穂の塩づくりに関して、塩の流通にも活用された高瀬舟・塩廻船・赤穂鉄道などの運送手段『乗り物』に焦点を当てて関連する資料を展示・公開
講演会開催	日時：令和7年11月23日（日・祝） 演題：「赤穂鉄道ってどんな鉄道だったかな～？」 講師：吉栖 清美
入館者数	4,026人

常設展示

令和7年4月1日（火）～6月24日（火）
義士コーナー展示「蔦重と忠臣蔵」
喜多川歌麿をはじめ多くの浮世絵師を見出した蔦屋重三郎に関する作品22点を展示・公開

令和7年6月26日（木）～令和8年3月3日（火）
義士コーナー展示「江戸時代の出版業界と忠臣蔵」
江戸時代の出版業界によって忠臣蔵文化が当時の人々に深く浸透していた様子がうかがえる資料17点を展示・公開

令和8年3月5日（木）～3月31日（火）
義士コーナー展示「赤穂義士の手紙」
赤穂義士が同じ赤穂藩士や近親者、商人などと頻繁に手紙のやりとりをしていた様子がうかがえる資料7点（書状13点）を展示・公開

夏休み企画

期 間	令和7年7月19日（土）～8月31日（日）
名 称	夏休みスタンプラリー&クイズ
内 容	夏休みに来館した小・中学生等に赤穂の歴史文化により興味をもってもらうため、館内でスタンプラリーを行い赤穂の歴史に関する問題を出題
参加人数	414人

企画イベント

期 間	令和8年3月15日（日）
名 称	朗読「赤穂義士絵物語」&音楽ライブ

～赤穂義士に思いを馳せて～

内 容 義士コーナーの展示替えに伴い、テーマである「赤穂義士の手紙」における赤穂義士たちの生々しい息吹をより一層実感として感じ取っていただくことを目的として「赤穂義士」の朗読会と音楽ライブを開催

参加人数 27人

文化図書等の発行事業

(1) 特別展図録の発行

・歴史博物館特別展図録の発行

発 行 日 令和7年11月22日

図 書 名 「赤穂を駆け抜けた乗り物たち～高瀬舟・塩廻船・赤穂鉄道～」

発行部数 600部

(2) ミュージアムグッズの製作

製作月	グッズ名	製作数	備 考
令和8年3月	「赤穂城コースター」(2種類)	600枚	歴史博物館

赤穂市立歴史博物館の管理運営に関する業務の収支決算書
(令和7年度分)

(単位:円)

収 入

項 目	予 算	決 算	差 引	内 訳
歴史博物館管理収入	29,680,000	26,605,404	3,074,596	歴史博物館管理収入
施設利用料収入	3,910,000	3,769,335	140,665	施設利用料収入
合 計	33,590,000	30,374,739	3,215,261	

支 出

項 目	予 算	決 算	差 引	内 訳
人件費				
給料手当支出	13,631,000	13,291,645	339,355	職員給 3人、諸手当
福利厚生費支出	3,250,000	3,042,441	207,559	共済費、社会保険料外
小 計	16,881,000	16,334,086	546,914	
物件費				
旅費交通費支出	53,000	14,260	38,740	旅費
消耗品費支出	886,364	886,364	0	施設管理用消耗品外
燃料費支出	40,000	34,434	5,566	ガソリン代
会議費支出	3,000	2,544	456	来客賄
印刷製本費支出	780,636	775,621	5,015	リーフレット印刷外
光熱水費支出	5,428,000	4,769,170	658,830	電気代外
修繕費支出	833,000	832,788	212	展示ケース修繕外
通信運搬費支出	326,000	293,397	32,603	電話料外
保険料支出	77,580	68,400	9,180	自動車損害保険料外
広告料支出	182,000	181,500	500	特別展広告掲載料
手数料支出	198,000	197,219	781	特別収蔵庫系空調機機密検査作業 外
委託料支出	6,722,000	4,952,678	1,769,322	清掃管理業務委託 1,499,520 建物管理業務委託外 3,453,158
使用料賃借料支出	765,000	648,281	116,719	自動車賃借料外
原材料費支出	5,000	4,180	820	補修用資材
消耗什器備品費支出	346,000	340,230	5,770	施設備品
諸謝金支出	10,000	10,000		
負担金支出	16,420	16,420	0	兵庫県博物館協会負担金
雑費支出	37,000	13,167	23,833	諸雑費
小 計	16,709,000	14,040,653	2,668,347	
合 計	33,590,000	30,374,739	3,215,261	

赤穂市立歴史博物館指定管理者自主事業収支決算書
(令和7年度分)

(単位:円)

収 入

項 目	予 算	決 算	差 引	内 訳
図書発行等事業収入	756,700	666,470	90,230	図書頒布収入
合 計	756,700	666,470	90,230	

支 出

項 目	予 算	決 算	差 引	内 訳
図書発行等事業費				
印刷製本費支出	666,700	629,640	37,060	特別展図録、赤穂城コースター
手数料支出	30,000	15,830	14,170	図書等販売手数料
諸謝金支出	60,000	21,000	39,000	執筆等謝礼
合 計	756,700	666,470	90,230	

令和7年度 指定管理者管理運営事業評価シート

1 評価対象施設

公の施設の名称	赤穂市立歴史博物館				
所在地	兵庫県赤穂市上仮屋916番地1				
指定管理者	団体名	(公財)赤穂市文化とみどり財団	指定期間	開始日	令和7年4月1日
	所在地	赤穂市中広864番地		終了日	令和8年3月31日
選定方法	公 募 ・ 非公募		評価実施年	指定期間3年のうち2年目	
施設設置目的	郷土の歴史に関する資料の収集、保管、調査研究及び展示等を行い、市民の教養の向上、文化の発展に資するため歴史博物館を設置する。				
主な実施事業	(1) 実物、複製、模写、模型、図書、フィルム等の資料を収集し、保管し、及び展示すること。 (2) 博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。 (3) 博物館資料に関する案内書、解説書、目録、図録、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。 (4) 講演会、講習会、展覧会、研究会等を主催し、及びその開催を援助すること。 (5) 他の博物館、学校その他の関係機関と連絡し、及び協力すること。 (6) 前各号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める事業				

2 利用状況(目標と実績)

成果指標		単位	目標	R6実績	目標	R7実績	目標	R8実績
a	利用者数	人	29,000	22,387	29,000	21,619	24,000	
b	稼働率	%		77		75		
c								
d								
e								

3 指定管理業務にかかる収支状況

区 分		令和6年度決算 (指定期間1年目)	令和7年度決算 (指定期間2年目)	令和8年度予算 (指定期間3年目)
収入計 A		30,548,833	31,041,209	33,565,000
	指定管理料	25,886,283	26,605,404	28,300,000
	利用料収入 C	3,907,595	3,769,335	4,330,000
	自主事業収入	754,955	666,470	935,000
	その他	—	—	—
支出計 B		30,548,833	31,041,209	33,565,000
	事業費	29,793,878	30,374,739	32,630,000
	内、人件費 D	14,864,714	16,334,086	16,841,000
	内、再委託料 E	5,613,520	4,952,678	6,379,000
	自主事業費	754,955	666,470	935,000
事業収入	A-B	0	0	0
利用料比率	C/A	12.8%	12.1%	12.9%
人件費率	D/B	48.7%	52.6%	50.2%
再委託費比率	E/B	18.4%	16.0%	19.0%
・支出欄「D・E」は代表的な内訳を取り上げているため合計額とはならない。 ・事業費は、該当年度及び過年度決算を記入する。また、右欄には、次年度予算を記載する。				
補足説明				

4 事業評価

評価区分		評価項目	自己評価	所管評価
①サービスの履行	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	B	B
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	B	B
		事業計画に即し、計画的に研修等を実施している。	B	B
	第三者への委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており適切である。	B	B
		外部委託業者に対して協定書等を遵守している。	B	B
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	B
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守している。	B	B
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	B
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。	B	B
		協定書等に従い、情報を適切に管理し、公表している。	B	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行い、情報の共有が図れている。	B	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	B	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練を行っている。	B	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行っている。	B	B
	財務状況	指定管理者の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	B
	総括	①サービスの履行に関する評価	B	B
②サービスの質	施設管理	協定書等に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	B	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	B
	利用者対応	利用許可、利用料金の徴収、減免、還付等の受付業務を適切に行っている。	B	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	B
		言葉使い、態度、服装等接遇が適切である。	A	A
	事業運営	事業計画に即し、必須事業を実施している。	A	A
		施設の目的に沿った自主事業を実施している。	A	A
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	B
	維持管理	仕様書等に従い、維持管理を適切に行っている。	B	B
		仕様書等に従い、設備の保守管理を行っている。	B	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行っている。	B	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	B
	苦情等対応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	B
		要望、苦情等を整理し、遅延なく市に報告している。	B	B
	事業評価	利用者アンケート調査を実施し、その結果を利用者等に公表している。	B	B
		利用者の利便性向上を図るため、自己評価を実施し、利用者等に公表している。	B	B
	提案事項	指定管理者の提案事項については、市と協議し、提案のとおり実施している。	B	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は、目標に対し妥当な水準である。	C	C
	総括	②サービスの質に関する評価	B	B
③安定性	経理事務	専用の口座等を備え適切に経理事務を行っている。	B	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	B
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	B	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	B
	総括	③安定性に関する評価	B	B

所見 (成果、課題等)	【自己評価】 入館者数は令和7年度も依然としてコロナ前の水準までには至らなかったが、特別展「赤穂を駆け抜けた乗り物たち～高瀬舟・塩廻船・赤穂鉄道～」展については、昨年度に続き広告回数を増やすなどの取り組みを行うとともに、特別展講演会の実施や市内団体への説明会を行ったこと等もあり期間中には多くの来館者があった。 また、今年度は新たに義士コーナーの展示テーマ「赤穂義士の手紙」に合わせて、朗読「赤穂義士絵物語」と音楽ライブを行うなど赤穂義士に関連した企画イベントを行い、これまでとはまた違った取り組みを行うことができた。今後も入館者の増加を図るため、引き続き魅力ある展示や企画、関連した催し等の実施に努めるとともに、効果的な手法を活用した情報発信等を行っていきたい。		
	【所管評価】 適切な管理運営を行い、特別展や体験教室を実施するなど、利用者増に努めている。引き続き、適切な施設管理と、広報やSNSを活用した積極的な情報発信を行い、利用者増への取り組みにさらに努められたい。		
前年評価	B	総合評価	B

※評価基準

自己評価・所管評価	A	優良	協定書、仕様書、事業計画書等を遵守し、要求水準より優れている。
	B	良好	協定書等を遵守し、要求水準を概ね満たしている。
	C	要改善	協定書等に定める要求水準を下まわっており、改善が必要と認められる。
総括	A	優良	評価項目の評価が全てB以上であり、かつAが過半数である。
	B	良好	優良、要改善以外の評価
	C	要改善	評価項目の評価の内、Cが1割以上含まれる。
総合評価	A	優良	自己評価、所管評価の「総括」にCが含まれず、かつAが過半数以上ある。
	B	良好	優良、要改善以外の評価
	C	要改善	自己評価、所管評価の「総括」にCが2つ以上含まれる。